

洛東の丘

～校長室から 洛東生の皆さんへ～
令和3年1月15日(金)第29号

今週の四字熟語

百花繚乱(ヒヤッカリョウラン)

多くの花が咲き乱れるように、優れた業績や人物が同じ場所や、同時期に多数居合わせ互いに輝きを放つこと

◆緊急事態宣言 再発令◆ ・ ・ 1月14日～2月7日 ・ ・

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は残念ながら収まるところを知らず、政府は京都を含む11都府県に緊急事態宣言を再発令しました。今回は、社会経済活動を幅広く止めるのではなく、感染リスクの高い場面に絞って、効果的・重点的な対策を徹底するという考え方で。今回は、学校にも一斉休校の措置がとられましたが、今回は一律には実施せず、感染リスクが高いとされるもの（近距離のグループワークや部活動等）について一部制限を設けたうえで、通常通り教育活動を継続することとなっています。本校は早い段階で研修旅行の中止を決定しましたが、実施を考えていた他校も中止または延期を迫られることとなりました。

また、これにより多くの部活動において、近畿大会や全国大会につながらない新人戦等が中止となりました。学校外でダンス等を頑張っている人たちの活動も制約がかかっているのではないのでしょうか。またしても一生に一度しかない高校生活のかけがえのない発表の場がコロナによって妨げられることとなり、やり場のない怒りがこみ上げてきます。皆さんにはどうか決して気持ちを折らずに努力を続けてほしいと願っています。

一方で、基本的な感染予防対策をしっかりと行っていれば、必要以上に恐れることはないと言われています。下図は京都府HP掲載の新型コロナウイルスに対する基本的な行動様式です。今一度再確認してください。

WITHコロナ時代の

新しいライフスタイル

①基本を実践

身体的距離の確保 マスクの着用 手洗い



感染防止の3つの基本を実践する

②3つの密を避ける

密閉 密集 密接



換気の悪い密閉、多数が集まる密集、間近で会話や発声をする密接を避ける

③発熱したら自宅で療養



発熱又は風邪の症状がある場合は、無理せず自宅で療養する

④ステッカーを目印に



・ガイドライン推進宣言事業所ステッカー掲示施設の利用
・「ココトコロ」等接触確認アプリの活用

⑤差別は絶対にダメ



新型コロナは、誰もが感染しうる病気であり、感染者等に対する差別的扱いや誹謗中傷は絶対に行わないこと



ココトコロ Android iOS

一人ひとりの思いやりが
あなたとあなたの大切な人の命を守ります

学校に届いた資料の中にわかりやすい図がありましたので掲載します。
参考にしてください。

コロナかな?と思った方

夜間や休診
の場合は



コロナかな?
と思ったら

① 身近な病院に
電話をする。

「きょうと新型コロナ医療
相談センター」に電話をする。

☎075-414-5487

- 365日24時間対応
- 京都府・京都市共通
- 外国語対応も可能(英語・中国語・
韓国語・ポルトガル語・スペイン語・
ベトナム語)

● 電話相談できない場合
(メール) coronasoudan@pref.kyoto.lg.jp
(FAX) 075-414-5487



② 医師に指定され
た時間に受診・
検査を行う。

診察・検査できない
病院の場合は接触者
外来を紹介。

紹介

※メール・FAXでの問い合わせは、回答まで時間がかかることや、タイムラグが生じる場合もあります。

紹介

- 検査可能な病院
- 接触者外来
- 京都府・医師会京都検査センター
(ドライブスルー方式)

新型コロナウイルス
感染拡大予防ガイドライン
推進京都会議

ステッカー交付 ↓ ↑ 申し込み



- お店を選ぶ基準になる
- 安心してお店を利用できる等



新型コロナウイルス感
染拡大予防ガイドライン
に基づいて、飲食店や旅
館などの事業者が、適切
な感染拡大予防対策に取
り組むことを宣言すると、
このステッカーが交付さ
れます。店の入口や店頭
に貼ることで、私たち消
費者が、お店を利用する
ときの安心の目安にな
ります。

ガイドライン推進宣言事業所ステッカー
事業者自らが、感染予防対策に取り組むことを宣言する証です。

京都府ホームページで最新情報をお知らせしています。定期的な確認を。

<https://www.pref.kyoto.jp/>



☆高校生活見直そう日☆

毎月一回「高校生活見直そう日」がある。人間、なかなか自分を見つめ直したりふり返ったりができそうでできないものだ。ある意味、こうして公式に設定されているときかけになるのではないだろうか。

では何を見直そうか・・・？先生方は、この両日、登校の様子を見守るためいつもよりもたくさんの方で校門付近での指導を行っている。また、PTAの皆様にも朝早くから御協力いただいている。さて、皆さんはどのようにこの日を活かしてくれているだろうか。ただ単に、「山科駅に校長が立っとるわ。」「校門付近にたくさん先生がいはるわ。」「おかあちゃんたちも来てはるわ。」「その分たくさん挨拶せんならんな」と言う、「なんかめんどくさい日」になってしまっては意味がない。たくさん先生の朝立つのが「高校生活を見直す」日ではない。1ヶ月に一度、本当にこの日を活用してくれたら、皆さんの高校生活は必ず進化するだろう。

しかし、見直すためには「何を見直すか」を決めておかねばならない。そして「何を見直すか」を決めるなら「何を目指すか」がはっきりしなくてはいけない。

たとえば

「何を目指すか」＝将来、美容師になって、ヘアメイクで人を幸せにしたい。

「短期目標」＝接客業なので教養と接遇を身につける。

【日々の授業を大切にする・本を読む・礼節を身につける など】

「中期目標」＝立ち仕事なので、規則正しい生活と体力を身につける など】

【毎日ストレッチ・週3回ランニング・規則正しい睡眠と食事 など】

「長期目標」＝学校選び・目標となる美容師探し・自分自信の美容師としての理想を構築と、すれば、月1回の「高校生活見直そう日」には「短期目標」と「中期目標」の励行状況を見直してほしい。つまり、何の目標も見直すべきものもなく、ただ単に『遅刻指導される日・スカートやリボンを直せと言われる日・挨拶をいつもより口うるさくと言われる日』になっているのなら、「のぼり」がただ空しくはためくだけの二日間となる。